

経営比較分析表（令和2年度決算）

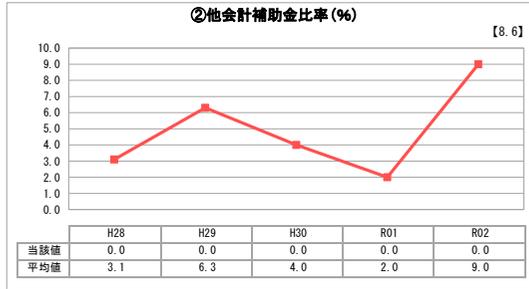
京都府八幡市 八幡市営駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	37	

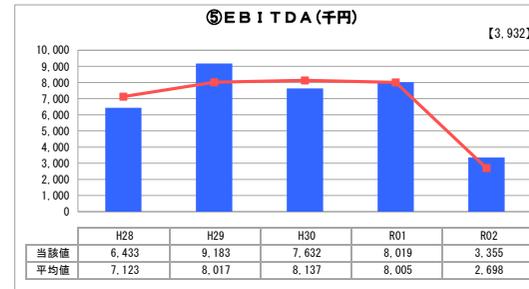
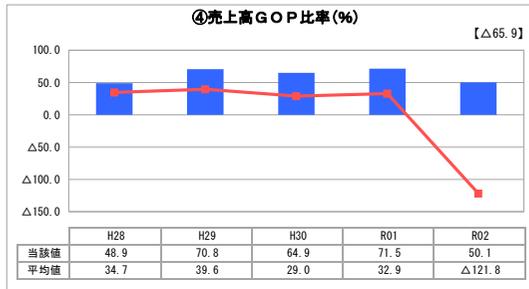
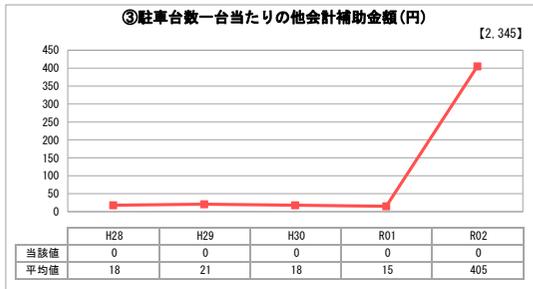
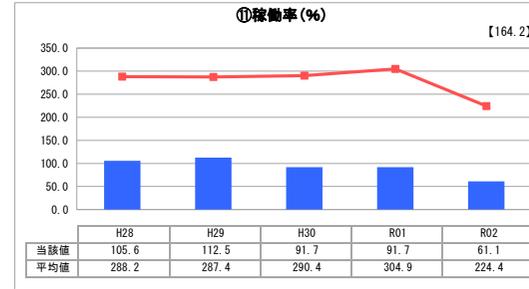
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	2,380
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
72	100	無

グラフ凡例	
■	当該施設値（当該値）
—	類似施設平均値（平均値）
【	令和2年度全国平均

1. 収益等の状況



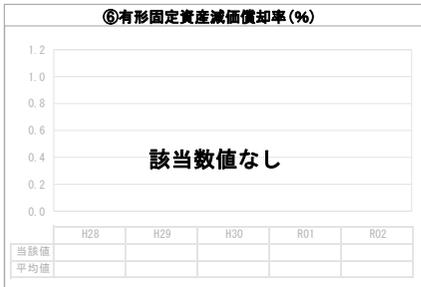
3. 利用の状況



分析欄

1. 収益等の状況について
令和2年度の収支比率については、令和元年度と比べ、かなり落ち込んでいる。
要因としては、新型コロナウイルスの影響による駐車場利用者の減少に伴う収入の減少が挙げられる。
2. 資産等の状況について
企業債の借入れもなく、今後10年の大規模な設備投資の見込みもないが、今後健全な運営を行っていく上で見直していくべきところである。

2. 資産等の状況

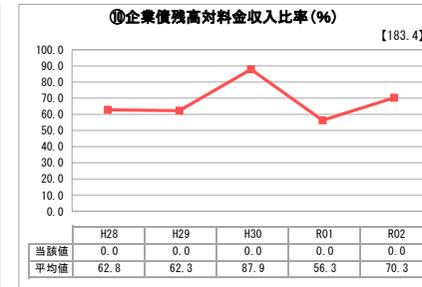
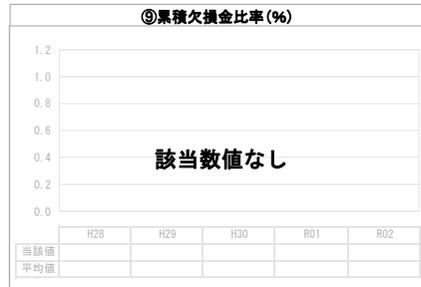


⑦敷地の地価(千円)

75,646

⑧設備投資見込額(千円)

0



3. 利用の状況について
利用台数が大きく減少している。
駅から近いためパークアンドライドによる利用者や、近隣で行事がある際には利用者が増えるが、令和2年度は新型コロナウイルスによる外出の自粛や行事の中止等の影響を大きく受け、利用者が減少していると考えられる。

全体総括
当該事業は黒字事業ではあるが、令和2年度においては新型コロナウイルスの影響により利用台数、収益が大幅に減少した。
今後、新型コロナウイルスの影響が緩和され、収益が回復していくと推測しているが、収支のバランスをとりながら、運営の見直し等を検討していく必要があると考える。